

令和7年度学校評価

令和7年度学校評価アンケート集計結果（保護者）							上段	2回目	下段	1回目	
							評価1…あてはまる	2…ややあてはまる	3…あまりあてはまらない	4…あてはまらない	5…わからない（判断できない）
設問	分掌	項目		評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	合計		
設問1	教務部	学校経営方針の周知	学校の教育方針「すすんで学び向上できる人 心豊かに共に生きる人 心身を鍛え、いのちを大切にできる人」を知っている。	125	0	0	40	0	165		
				59	0	0	13	0	72		
次年度も保護者・児童生徒に知っていただけるよう、保護者会での周知及び、教育方針を教室に掲示し、学校からのお便りに載せ知っていただくことを継続していきます。											
設問2	教務部	特色ある学校づくり	学校が力をいれて行っている取り組みについて知っている。 小学部：校内スタンプラリー、乗馬体験、老人ホーム訪問など 中学部：スクールファーム、滝山城址見学、職場体験など	149	0	0	16	0	165		
				56	0	0	16	0	72		
より多くの保護者に知ってもらえるよう、取組があることを事前にお知らせし、またお便りで取り組んだ様子をお伝えすることを継続していきます。											
設問3	教務部	小中一貫教育	本校が小学部と中学部で合同で行う行事について知っている。	158	0	0	7	0	165		
				70	0	0	2	0	72		
より多くの保護者に知っていただけるよう、より多くの保護者に来ていただき、また取り組んだ様子をお便りでお伝えすることを継続していきます。											
設問4	生活	安全管理	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、朝の見守りや様々な場面を想定した避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	90	49	10	4	12	165		
				37	26	2	0	7	72		
評価1、2の割合は前回と大きく変わらない。今後も、PTA等、外部と連携しながら、安全な学校生活、登下校、放課後の生活が出来るよう計画的に指導していきます。											
設問5	生活指導部	人権教育	学校は教育活動全体を通して、子どもが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている。	57	58	24	7	19	165		
				22	31	7	1	11	72		
評価1、2の割合は前回と大きく変わりません。日々の学校生活では、教員自らも呼名の仕方や言葉遣い等で児童生徒の人権を尊重する態度を心掛けながら、特に道徳や学級活動の充実を図っていきます。											
設問6	生活	いじめ防止への対応	学校は、いじめの未然防止への取組、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	45	55	29	8	28	165		
				22	29	5	1	15	72		
前回より評価1、2の割合が少し下がり、改善が必要と捉えます。週1回のいじめ対策委員会では、児童生徒の事例について丁寧に話し合いが行われ、早期の発見や対応に役立っています。いじめの防止の視点では、児童生徒間のよりよい関係づくりを目指し、学級活動や、生徒会児童会活動の充実を図っていきます。											
設問7	生活	学級経営	子どもの学級は、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	60	67	9	8	21	165		
				34	22	7	0	9	72		
評価1、2の割合が前回より上がっています。本校は「かすみスタンダード」を設定しています。語先後礼、チャイム着席、話の聞き方・話し方等学習環境を整えることを再度確認し、より児童生徒が力を発揮し、認め合いながら活動し、学習への意欲を高めていけるようにしていきます。											
設問8	進路	学習指導	学校は授業において、説明、板書、発問、視聴覚機器（ICT機器）の活用などの工夫に取り組んでいる。	60	53	15	6	31	165		
				22	29	6	0	15	72		
肯定的な意見が多いですが、わからないという意見も18%ありました。授業参観に来ていただくことに加え、ホームページ等で授業の様子もお伝えできるようにしていきます。											

設問9	教務部	適正な評価	学習活動に対する評価は適切・公平である。	56	58	11	5	35	165
				24	22	7	1	18	72
肯定的な意見が多い中、わからないという回答も20%近くありました。次年度も保護者会・教科説明会で評価について説明する時間を設け、児童生徒にも授業内で事前に説明し、理解していただくことを継続していきます。									
設問10	生活	生活指導	学校は子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	61	63	15	7	19	165
				26	33	2	0	11	72
評価1、2の割合は前回と大きく変わりません。生活重点目標「かすみスリー」は、挨拶、規律、環境整備を掲げています。小中それぞれ「生活のやくそく」も含め、児童生徒がきまりを守って集団生活を送ることの良さを感じられるような指導や機会を充実させていきます。									
設問11	進路	キャリア教育	学校が、「はちおうじっ子キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	83	50	11	4	17	165
				38	21	4	3	6	72
学期末に、保護者にお見せし励ましのことばを書いていただくことを継続していきます。									
設問12	生活	環境整備	学校は学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。	62	64	15	8	16	165
				27	27	5	0	13	72
評価1、2の割合は前回と大きく変わりません。清掃活動については、各学年ほぼ単級と児童生徒が少ない実態の中で、学校全体を分担して協力的に清掃活動しています。分担が行き渡らないところは、委員会や職員で対応することも考えていきます。									
設問13	教務	情報提供	学校は保護者に対して、適切に情報を提供している。 (学校だより・学年だより・HPなど)	84	58	13	4	6	165
				42	25	0	1	3	71
次年度も定期的にお便りを発行し、児童生徒の様子や必要な情報をお伝えし、訂正など必要となった情報はホームページやHome&Schoolなどで迅速にお知らせできるよう継続していきます。									
設問14	支援	特別支援教育	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対する教育）に取り組んでいる。	82	53	7	5	18	165
				45	18	2	0	5	70
8割以上の高評価を得ています。特別支援学級も開設されたので、本校の特別支援教育の取組を発信していくことで低評価を減少させていきます。									
設問15	生活指導部	人権教育	学校では、教師自らが人権感覚を身につけ、自他を尊重した言葉遣いや適切な表現ができるよう指導が行われていている。	57	45	22	12	29	165
				22	23	4	5	16	70
評価1、2の割合は前回と大きく変わりありません。職員室や教室等での、教員の呼名の仕方や言葉遣い等には、児童生徒の人権を尊重する態度が必要であることを確認しています。教員同士で意識を高くもち、声を掛け合える関係づくりをしています。									
設問16	GIGA	学習端末の活用	学校は、授業支援ツールやドリル型コンテンツを利用するなど、1人1台学習者用端末を積極的に活用した授業が行われている。	84	38	17	6	19	164
				31	21	5	1	12	70
第1回と変わらず、70%以上評価を得ることが出来ました。今後も活用は続けていくとともに、家庭に学校での実施状況を知っていただけるよう啓発に努めていきます。									
設問17	生活指導部	生活指導	学校では、「あいさつができる・人の話を聞く・物を大切にする・時間を守る」の4つを意識した教育活動が行われている。	59	57	18	8	23	165
				28	24	5	1	11	69
評価1、2の割合は前回と大きく変わりありません。職員の中では「物を大切にする」指導と状況への課題があがっています。物の準備や使い方、管理の仕方等、具体的に指導を共有できるようにして改善を目指します。									
設問18	自治的活動	委員会活動	児童・生徒が主体的に協同して委員会活動や行事を進めている。	81	50	5	7	22	165
				35	23	3	0	9	70
およそ8割の高評価を得ています。今後も児童生徒が主体的に共同して委員会活動や行事を進めていけるように職員一丸となって取り組んでいきます。低評価や評価5を減らすためにも、各行事に実行委員会やその他児童生徒が主体的に取り組んでいる姿を学校HP等を活用し、発信していく必要があります。									

自由記述に対して

(1)学校のアプリで調べたいと思っている情報が見つげにくいので、わかりやすく、見やすくしていただけたらと思います。

現在、マチコミに加え、欠席連絡ができるeducomのHome&Schoolを活用しています。このアプリでは①欠席連絡を送ること②学校からの通知を開くことの2点での活用となっています。詳しい使い方については『educomのH&S操作案内』のサイトに入ってご確認ください。

(2)夏休みが短く、他の家族と予定が合わせずらいです。毎週水曜日が4時間なので、その分の時間を夏休みに当てて欲しいです。

八王子市の施策で総授業時間1015時間を週29から2コマ減らし27コマで行うこと、次年度は給食を195回以上必ず出すこととなり、日数もこれ以上減らすことは厳しい状況です。

(3)カリキュラム、学習環境の整備、特別支援教育、児童・生徒が主体的に生活等学校側が試みているのは分かるが、先生、保護者、児童・生徒の解釈がバラバラなため全てにおいて運動できていないように感じます。

学習、生活、特別支援等目指すべきものがたくさんありますが、教職員・保護者・児童生徒が目標を共有し実現を目指すよう努力していきます。

(4)学校に来ている保護者に対して、挨拶をしてくれる子が少ないと感じます。我が子もそうかもしれませんが…先生だけにすれば良い、というのも違うかと思えます。

「あいさつ」は本校の重点目標です。児童会生徒会の「あいさつ運動」等の取り組みもあり、以前より改善している見立てもありますが、今後も日々のあいさつの機会を大切に指導すると共に、その効果についても共有していけるよう心がけます。

(5)椅子や文房具等物を投げて怪我をさせたり、暴力等の行為がないようにしっかり指導して頂きたいです。学校生活での子どもの安全に対する配慮をもう少ししていただきたい。同じ学年に急に蹴るなど暴力的なお子さん、気に入らない物を投げるお子さんがいるらしく、学校に行くことを嫌がることもある。親も安心して学校に子供を送り出したいです。

暴力行為等の事例があれば、学級へのサポート体制の強化等すぐに対応しています。学級指導及び教科指導が、児童同士のよりよい関係づくりに繋がるよう、職員で相談し指導の充実を図っていきます。

(6)以前、お話を聞かない子がいて、子ども同士で注意をしているのに、なぜみんなで注意し合えないのか?!と大きな声で怒られたことがあるようで、先生は本当に子どもたちをみているのか?と感じることを聞きました。また、怪我のため連絡帳で体育を見学すると記入しているにもかかわらず、サボリじゃないの?と言われたという話を聞きました。

本人は傷ついたようで、ふざけても先生が言う言葉ではないと思いました。子どもは、先生からの言葉を先生が思っているよりも重く受け止めているようです。言葉を選んで伝えていただきたいと思いました。

指導については、個々にも丁寧に説明しています。今後も理解できるように話していきます。

(7)保護者駐車場から校舎へ向かう際、横断歩道で止まっても通行車両が止まらない。

交通量も多いので、子どもを連れて横断するのが極めて危険な時がある。警察に連絡したいと思っています。

危険がある箇所であると学校も把握し、送迎等で児童の横断の際には保護者の見守り及び付き添いをお願いしています。ご対応に感謝します。

(8)一部の児童生徒の行動や言動が日々の学校生活に影響を与えていると思います。

そういった児童生徒が他学年も一緒に過ごす未来塾や特別支援学級に偏ってしまうのは不安です。

その児童生徒にもそういった支援が必要なのかもしれませんが、そうであれば専門知識のある先生をもっと増やしていただきたいです。現状の数では対応しきれないのではないのでしょうか。子どもたちが、学校に行くのが「楽しい」と思うような環境づくりをしてくれると、より嬉しいです。教育環境にふさわしい、身だしなみを。

都で決められていますが、支援体制を児童が困らないように築いていきます。また学校の決まりについて全体で確認していきます。

(9)子どもが安全で安心して学べる環境を整えてください。学級崩壊寸前に近い状態をどうにかしてほしいと切実に感じています。個別対応や、必要に応じて臨時保護者を開くなどして、対策を考えていただけませんか。また、先生のなかにも、不適切な言葉遣いや態度をする方もいると子どもからは聞いています。先生方の質の向上も求めます。

高学年は教科担任導入により、児童の中に前年にはなかった戸惑いがあるように思います。関わる教員全員で、指導や状況の改善を目指し度々話し合っています。今後も多くの職員で状況の改善を図り、対応していきます。

(10)最近の子供達を見ていると不満に思う気持ちや相手に対して怒りがある時 その相手に伝わるように向き合っていないと とても強く感じています。思いのままに感情に任せて伝えるか 本人に直接伝えず陰でクラスメイトと話に出す 本当の思いが伝わらず ほじれてしまったり それがいじめと捉えられてしまったり この辺りの子供同士で (仲介 あり) 話をする場を作ってくれているのだろうか 学校生活が見えない親の心配があります 学年が上がることに対話が見えないような そんな風に 相手と向きえない人にならないか心配になる そんな時代です。

相手に気持ちを伝えることが苦手な子供たちが増えています。道徳や日ごろの学校生活などの指導はもちろんですが、問題が起こった時には素早く対応していきたいと思えます。気になることがありましたら学校のほうへ連絡していただけたらと思います。

(11)先生から子供へのセクハラが許されないのはもちろんですが子供達から先生へのセクハラも許してはいけないと思えます 現状 先生方が子供達から何をされてもセクハラ 暴言など我慢するしかないように見えて気の毒です。

年齢に関係なくハラスメントはいけないことです。今後もハラスメントを許さない学校にしていきます。

(12)学校に訪問した際、廊下が埃や砂で汚れているので定期的に廊下の清掃をお願いしたいです。

清掃に関しては、今後もきれいな学校を目指して、清掃活動に取り組んでいきます。

(13)インフルエンザなど学級閉鎖になった場合、他の学年にも連絡を頂けると、体調を崩して病院に行った時に伝えやすいです。

今後、学校で検討していきます。

(14)生徒によって注意の仕方が違うのは改善してほしい。

誰に対しても公平な指導を心掛けていきます。

(15)小学部を含め、パソコンの使用状況を確認してほしい。学童保育では動画やゲームを学校のパソコンで使い放題ときいた。一部生徒に対し、どうか卒業まで学校内で騒動を起こさないようにという指導になっていると感じる。好き放題・教員への暴力など、もっと早く通報してほしい。卒業後の事、将来の事を考えたら、子供の為にも学校外の強制的な支援が必要だと思う。

学童と情報を共有し、協力して状況の改善を図ります。

様々な問題に対して、今後も学校だけでなく、外部と連携を図り、支援・指導をしていきます。

(16)上の子は委員会活動に（無自覚的ではあるが）責任感を持って取り組んでいたように感じました。中学生も一緒の環境が良い緊張感をもたらしているよかなと思いました。

今後も委員会を中心とした小中学部の連携・運動を進めていきたいです。その中で中学生を手本として小学生が成長できる機会や環境を意図的に設定していきます。

(17)学年応じて生徒主体の学校づくり

各担任の先生は学級活動の充実に努めています。

(18)班決めなどを学級で行った際、先生がその様子をどこまで見て認識されているのかわからないのですが、不満を持っていた子が放課後に、直接LINEで文句を言うという事がありました。それから、クラスで授業に集中できないと日々耳にしており不安です。

ご心配をおかけしております。子どもたちのことで何か気になることがございましたら、学級担任、管理職までご相談ください。

(19)日々、先生方へはとも感謝しております。

子供も嫌がることなく毎日楽しく学校に行っております。ですが、1つ言いたいことは中学生の行事についてです。特に体育祭は、見直しをしてほしいと思います。小中一貫校だからといって、小学生に合わせる必要は全くないと思います。むしろ中学生の力強さを見せるべきです。

最近の加住中の体育祭は、競技というもの形だけで競技になってないように思います。今年の徒競走は、くじ引きで順番を決めた聞き、耳を疑いました。我が家は上の子は違う中学に行ったので、尚更比べてしまうのかもしれませんが、でも、応援の盛り上がり、白熱した勝負、それを一切味わえない加住中の体育祭には魅力を感じません。行事なんて、って思う家庭もあるかもしれないですが、私は年に数回ある行事をととても楽しみにしています。改善を期待しています。

徒競走の「走順」は、過去に『タイム順』で行ってました。しかし、単学級で人数も少ない本校は『タイム順』では個人の走力が大きく変わることが少ないため、9年間ほぼ同じメンバー（4コース4人）で走ることになっていました。そうすると、誰が一番となるかが走る前から分かっていて、2番手以降の生徒は「今年も自分は勝てない」と分かっていることから全力で走らない生徒が複数出て、保護者の方からも「自分の子どもはずっと勝てない相手と毎年走っている」とのご指摘を複数年にわたりいただけてきました。

そのことへの対応策が「くじ引き」です。誰もが「勝てる」可能性をもたせるように考えました。ただし、「勝てるチャンス」が増える半面、走る前から順位が予想できてしまう懸念もございます。「走順」につきましては、今年いただいたご意見も参考に、よりよい行事となるよう検討してまいります『盛り上がり』については「学校規模」と「小中一貫校」との相関が大きく影響します。昨年度より、中学部の生徒が考えた中学部単独の種目を取り入れました。また、小中一貫校（約230人）だからこそ人数的に盛り上がり、小学生は中学生の力強い動きに憧れ、中学生は小学生の取組を懐かしく温かい目で応援する姿があります。これは小中一貫校だからこそ本校の特色です。これからも本校の強みである小中一貫校のよさを活かした行事づくりを目指してまいります。

(20)音楽の発表会は毎回「その学年の課題」がとても分かりやすく成長を感じられ感動します。音楽の先生の取り組み方がとても良いのかなと思いました。

ありがとうございます。子どもたちが成長を見せられるよう、今後とも頑張っております。

(21)お忙しい中、いつも丁寧にご指導してくださり本当に感謝しています。欠席したり何かあったら、こまめに連絡をくださり、困った時は一緒に考え対応していただき、とてもありがたいです。

人との関わりが希薄になっている昨今ですが、地域との関わりや関係も大切にされていて、とても素敵だと思います。ご意見ありがとうございます。加住ほど地域人材に恵まれた環境は市内でも少ないと思います。これからも加住の子どもたちを地域で育てていけるよう環境整備に努めます。

(22)放課後に遊べる日を増やしてほしい

増やすことは可能なのですが、見守りをするスタッフが足りません。地域、保護者の人材協力があれば増やしていきます。